資料３

Hyogo Prefecture

広報・広聴活動の推進について

作成年月日	令和８年11月16日
作成部局名	総務部秘書広報室広報広聴課

目次

Ⅰ　広報活動の推進

1　戦略的な広報活動の推進

（1）効果的な広報媒体の活用・・・・・・・・・・・・　3

（2）パブリシティ活動の強化・・・・・・・・・・・・　9

2　全庁広報力の強化充実強化

（1）専門人材の活用　・・・・・・・・・・・・・・・　10

（2）庁内の広報発信力強化・・・・・・・・・・・・・　13

（3）県民との協働による情報発信力強化・・・・・　14

Ⅱ　広聴活動の推進

1　県政への意見・提言の把握・・・・・・・・・　16

2　相談体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・　19

3　県庁見学の実施・・・・・・・・・・・・・・・・　21

Ⅰ 広報活動の推進

1　戦略的な広報活動の推進

（1）効果的な広報媒体の活用

①　県広報紙「GOKOKU県民だより兵庫」（予算額　259,514千円）

「兵庫県のさまざまなことがわかり、兵庫県のことがもっと好きになる広報紙」をコンセプトに、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力やイベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信。
スマートフォンでも見やすいWeb版を県ホームページ上に作成し、SNS広告で積極的に周知。

【規　　格】タブロイド判８ページ（全面フルカラー）
【部　　数】130万部
【発　　行】年12回、原則毎月１日発行
【配布方法】新聞折込、公共施設等への配架
【地 域 版】１～７面は全地域共通、８面に県民局別の情報を掲載
【認 知 度】27.70%（令和7年度インターネット調査）
【そ の 他】
◯デジタル展開
・Web版県民だよりの作成、ネット広告の強化
・自治体広報アプリ「マチイロ」、デジタルブック「HYOGO ebooks」「マイ広報紙」などの電子書籍に掲載
◯ユニバーサル対応
点字広報紙「広報ひょうご」（620部）、音声による広報「愛の小箱」（CD480枚）を毎月発行



紙面例

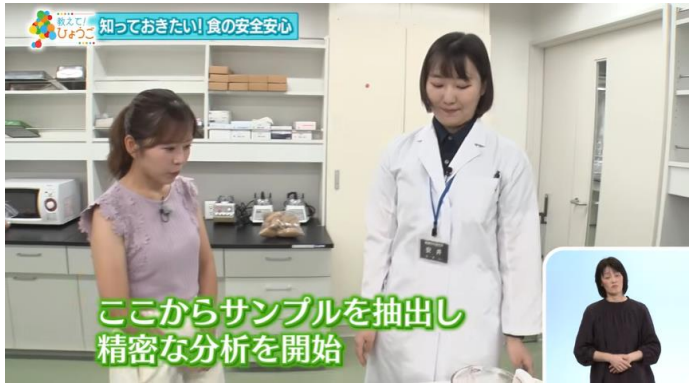
②　県民情報テレビ番組「ひょうご発信！」（予算額　62,637千円）

身近なＴＶ放映の特性を生かし、県政や地域の魅力（フィールドパビリオン、観光スポット、特産品、地域で活躍する人等）をテンポよく分かりやすく紹介する情報番組を提供。

【日　時】毎週日曜日　8時30分～8時55分
【内　容】「THAT’S　FIPAVI」
　　ひょうごフィールドパビリオンのプログラムやプレーヤーの想いをリポート
「教えて！ひょうご」
　　県政情報をリポーターがわかりやすく紹介
　　観光・グルメなど様々な切り口で、県内各地の魅力を発信
【視聴率】5.4%　（日本リサーチセンター調査（R8.7月実施））



THAT’S　FIPAVI
「プロの仲買人が案内する
　活気あふれる由良漁協のセリを体験」
（R8.6.7放送）



教えて！ひょうご
「知っておきたい！食の安全安心」
（R8.9.20放送）



教えて！ひょうご　特別編
「いま考える、兵庫県の財政」
（R8.10.16放送）

③　ラジオを活用した情報発信（予算額　8,188千円）

ラジオ番組内に兵庫県の情報コーナーを設け、県政情報やタイムリーな話題を発信。

ア　ＧＯ！ＨＹＯＧＯ！

【日　時】毎月第２・第４水曜日　15時00分～15時20分
【番組名】ラジオ関西「Clip」内
【内　容】パーソナリティが県政情報を発信するコーナーを設置し、パーソナリティによる現地取材やＳＮＳによる告知を実施

イ　こちら知事室

【放送日】毎月第２木曜日
【番組名】ラジオ関西「三上公也の朝は恋人」内で約25分間
【内　容】知事が出演するコーナーを設け、県政のタイムリーな話題を発信



【GO!HYOGO!】　Xにおける告知ポスト



【こちら知事室！】　収録風景

④　ホームページ

県公式HPトップページ



ア　ホームページの運営（予算額　23,184千円）

- 県民の生活を支える基礎情報や施策情報、県の魅力を県民等に届ける広報基盤として運営。
- 即時性を活かし、主要施策や防災、イベント・観光などの県政情報全般を提供。災害等緊急時には、緊急度、重要度が高い情報を分かりやすく発信。

イ　ホームページの全面リニューアル（R8.10.28～）（予算額　37,286千円）

- インターネット利用環境や利用者ニーズの変化へ対応するため、運用・保守契約が満了を迎える５年周期で改修を行うこととしており、今年度に改修を実施。
- ①目覚ましい進化を遂げているAIへの対応、②頻発する災害への対策、③職員の負担軽減、④情報セキュリティの強化などの観点を取り入れ、正確で最適な情報を反映したHPにより県政情報を発信。

【リニューアルのポイント】

①必要な情報に素早くたどり着けるデザイン･構成
- 一目で視認しやすいページレイアウトを採用
- AIを活用した高精度なサイト内検索を実装
- AI翻訳サービスで131言語に対応

②災害時にも継続できる情報提供体制の確立
- データサーバ類を県外遠隔地（２か所）にある耐震性の高いセンターに設置
- クラウド環境でシステムを管理、運用

③県民との接点を増やす情報発信
- 訪問者に県の取組みを「見てみたい」と思わせ、県政をもっと身近に感じてもらえるデザイン
- 県が“いま何に取り組み、どう進んでいるのか”を分かりやすく伝える「HYOGODIGEST」をHP内に新設

④職員の負担軽減・意識改革
- CMS（コンテンツ管理システム）の機能を拡充し、職員の作業効率向上を図る
- 外部サイトのリンク切れチェック、二次元コード生成等の新機能搭載によるHP品質の維持向上

⑤　SNS（X(旧Twitter)、 Instagram）

速報性、双方向性、拡散性、掲載できる情報量の多さなどの特性に合わせて、多様な県政情報を、迅速かつきめ細やかに発信。

ア　X（旧Twitter）

防災情報やイベント、観光情報などを毎日発信
【フォロワー数】94,357人（R8.10月末）

イ　Instagram

県政に関する内容のうち、画像による発信効果が見込めるものや、文書では伝わりにくいもの等を発信
【フォロワー数】11,078人（ R8.10月末）



X（旧ツイッター）
（@hyogokoho）



インスタグラム
（hyogo_koho）

⑥　動画配信

ア　ひょうごチャンネル（YouTube）

県政情報・県の魅力発信を行うためYouTubeアカウントを運営。各課が作成した動画や知事記者会見のライブ中継を配信。

【動画登録数】　2,686本（R8.10月末）
【閲　覧　数】　約289万回（R7年度）
　　約178万回（R8年度（R8.10月末））



ひょうごチャンネル(YouTube)

イ　広報専門員による県政魅力発信動画（予算額　1,452千円）

県職員にスポットを当てた動画や、フィールドパビリオンを紹介する動画など、広報専門員が現場をレポートする動画を制作し、専門員のチャンネルで配信。

【配信本数】年５本程度（ｼｮｰﾄ動画 R8：13本(10月末時点)・R7：33本）
【番組内容】和菓子菓子体験(猪名川)、醸造体験(姫路)）など（Ｒ７）
盆栽体験(高砂)、職員のまなざし(水産研究職)など（Ｒ８）



広報専門員による制作動画

⑦　Podcastによる情報発信（予算額　14,385千円）

音声配信コンテンツであるPodcastを活用し、神戸出身のタレント・山之内すずと兵庫県職員が、若者の視点を交えて県政情報を発信。
【番組名】ヒョーゴ★トーク～山之内すず×高校生×兵庫県職員～
【期　間】R8.11月10日～R9.３月
【配信日】毎週火曜日　全20 回／1 回約20 分

[R7実施内容]
尼崎出身･元AKB48の福留光帆と兵庫県職員が、兵庫の魅力を発信するべく、兵庫県の取組についてトーク。
【総再生回数】音声：約13万回、ショート動画：約20万回）



Podcast番組収録風景

（２）パブリシティ活動の強化

①　定例会見、行事と連動したプロモーション

県施策のタイムリーな情報発信の機会として原則週に１回開催。手話通訳の導入、インターネットライブ中継により多くの県民に県政情報を発信。
また、知事の囲み取材への対応、視察現場や会議の公開、各担当課によるPRなど、積極的なパブリシティ活動を実施。

②　ニュース配信（スマートニュース）

日本最大のスマートフォン専用ニュース閲覧アプリである「スマートニュース」と提携し、記者発表資料を配信。

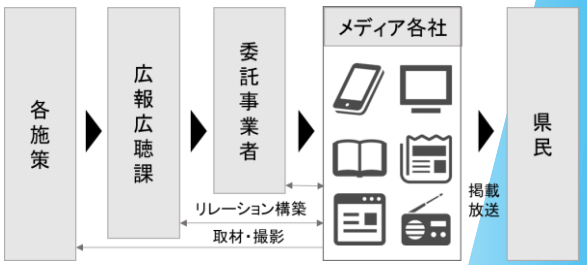


画面イメージ

③　戦略的リレーション構築によるメディアパブリシティの獲得（予算額　14,000千円）

県の施策が第三者メディア(民放､新聞､雑誌等マルチメディア)で自発的に取り上げられる機会を最大化すべく､戦略的に信頼関係(リレーション)を構築することで､社会的信頼性と拡散性の高い情報発信を推進。

【テーマ（予定）】
・兵庫発「新品種コ･ノ･ホ・シ」のセールスプロモーション
・「すごいすと」兵庫のすごい人が集結！
・スタートアップ×行政で社会課題を解決「ひょうごTECHイノベーション」



2　全庁広報力の充実強化

（１）専門人材の活用（予算額　14,413千円）

統一感のある戦略的な広報コンセプトの下、個別施策に応じ広報活動の方向性について総括的な助言指導を行うプロデューサー、広報手法の提案や編集・デザインに関する具体的な助言指導を行うディレクターを設置。

職種	内容	勤務形態
広報プロデューサー　（１名）	個別施策に応じた広報戦略の企画・立案、広報物の品質向上に向けた指導の総括	3～4日／週
メディアディレクター（２名）	効果的な情報発信のための最適なメディア選択や発信方法等への指導・助言	2日／週
デザインディレクター（１名）	ポスター、チラシ、動画等のデザイン向上に向けた指導・助言	2日／週

①　広報相談（主要事業への助言）

若者・Ｚ世代支援事業をはじめとした各部局の主要事業等に対して、広報プロデューサー等が助言を行い、戦略的な広報活動を支援。

	R3	R4	R5	R6	R7	R8.9月末
相談回数	565	630	679	736	794	346

【専門人材による広報支援事例】

兵庫県立森林大学校

コンセプト段階から伴走型で支援し、学校の魅力を詰め込んだ動画やＳＮＳの発信、ロゴの作成、タブロイド紙の発行等を行った結果、前年は１名だった年度当初入学者が、今年度は16名に増加。



【タブロイド紙】



【動画】

兵庫県立
森林大学校
森で働く、森と働く、だから学ぶ

【ロゴ】

新しいお米！コ･ノ･ホ・シ

ネーミング、ロゴ制作の段階からプロジェクトに参画し、ブランディング、認知度向上に向け指導・助言。



【ロゴマーク】
「空」と「稲穂」と「土」を過度なデザインにせずシンプルに表現。

【ボディコピー】
品質と産地のみならず、ストーリー性をアピールし、温暖化と戦ってきた開発経緯や、消費者の共感を得る「食べるSDGs」を伝えることを意識。

ひょうごフィールドパビリオン

視覚に訴えるロゴ・キャッチコピーの制作、HPや動画等を組み合わせたメディアミックスによる効果的な発信手法について指導・助言。

ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs



②　職員向け広報研修

広報プロデューサー、ディレクターが講師となり、県職員や外郭団体、事業関係者向けの研修を実施。

	R3	R4	R5	R6	R7	R8.9月末
研修回数	10	17	26	23	26	6
研修受講人数	813	799	1,199	981	870	296

【主な研修（R７）】

研修名	対象	研修内容
新任職員研修	新規採用職員	広報相談事例等を紹介しながら、県民目線に立った自治体広報のあり方や広報の重要性について講義
県民局広報担当者研修	県民局職員	県民だより地域版や県民局HPの効果的な活用方法について好事例を紹介しながら解説
ひょうごフィールドパビリオン磨き上げ研修	フィールドパビリオンプレイヤー	プログラムを軸としたコンテンツの作り方とメディアミックス実践方法を講義
市町職員向け研修	市町広報担当職員	自治体広報のあり方やHP、SNSの効果的な活用方法について県の事例等を紹介しながら解説
部局別広報力向上研修	県民生活部 病院局	部局の特色を踏まえた広報のあり方や同部局の事例を紹介しながら解説

（２）庁内の広報発信力強化

①　広報ラボの運用

　広報活動をより効果的・戦略的に進めるための知識やノウハウ、実践事例を一体的に集約した庁内向けの情報共有プラットフォーム「広報ラボ」をＲ８年６月に立ち上げ。
　広報に関する基本的な考え方や最新のトピックを学べるコラムをはじめ、県HP運用のためのマニュアル、記者発表・会見に関する基礎知識や手順など、日々の業務に直結する実務情報も幅広く掲載。

【主なコンテンツ】
・広報トピックス（広報に関する考え方などのコラムを掲載）
・研修アーカイブス（広報広聴課主催の研修、会議の動画を掲載）
・広報、広聴の手引き（広報関連の各種事務手続きを集約）
・広報メディア、コンテンツの紹介



広報トピックス（コラム）



研修アーカイブス（動画）



広報ラボ

（３）県民との協働による情報発信力強化

①　地域広報人材参加型の県政発信パワーアップ事業（予算額　9,963千円）

県民の声で地域の魅力を再発見する県民参画型広報事業として展開してきた「兵庫五国連邦プロジェクト（Ｕ５Ｈ）」と、県民がメンバーとして県広報物や広報のあり方などを様々な視点からディスカッションする「ひょうごエディターズ倶楽部」の両事業を、相乗効果を図るため一体的に運用。

ア「兵庫五国連邦プロジェクト」の展開

県民からの投稿を基本に、地域への誇りや愛着心の醸成、交流推進を目指した取組を展開。

令和７年度は、コ･ノ･ホ・シの販売に合わせて、お米を使ったレシピなどの募集や、これまでのコンテンツをエリアごとにまとめたタブロイド紙を発行。



U5H各地域のタブロイド紙

イ「エディターズ倶楽部」の運営

県の魅力や県政情報について、一般県民や学生の参画を得て県民目線での情報発信を行う。

令和８年度からはＵ５Ｈの企画・コンテンツ作成にも携わる。

【メンバー】県広報に興味がある県民40名
（※フリーライター、企業広報担当、学生など）

【内　　容】・広報ノウハウやSNS発信の勉強会
・県内各地の魅力や県政情報の記事作成



若者Z世代応援パッケージのWEB記事を作成

②　「ヒョーゴアーカイブス」の運営

兵庫の過去と現在の姿を県民とともに保存・活用し、未来に伝えていくwebサイトを運営し、ふるさと意識の醸成や五国の多様で豊かな魅力を発信。

【コンテンツ数】　写真808点、動画88点（R8.10月末）
【活用事例】　・兵庫津ミュージアム企画展「未来へつなごう！万博展」での展示
・TV局、鉄道会社のキャンペーン広報での映像利用
・兵庫県大気汚染監視システムのパンフレットでの利用



ヒョーゴアーカイブス トップページ



活用事例：兵庫県大気汚染監視システムのパンフレット

Ⅱ 広聴活動の推進

1　県政への意見・提言の把握

「県民ボトムアップ型県政」を推進するため、多様なチャンネルを通じて県民とのコミュニケーションを確立。

（１）県民意識調査（予算額　1,530千円）

県民の価値観や行動志向、県政へのニーズなど県民意識の基本的な経年変化を大きな潮流として捉え、県の政策形成、施策運営に反映。

【調査対象】県内在住の18歳以上の者　５千人（無作為抽出）

【毎年調査項目】　ア　生活満足度
イ　生活向上感
ウ　震災に対する意識
エ　地域活動への参加実績
オ　県政への関心

【R８調査】

年次テーマ	交通安全（自転車）に対する考えと取組状況
目的・活用方法	自転車事故の防止に向け、ヘルメット着用の努力義務化や令和８年４月１日に開始された自転車の交通反則通告制度（青切符）などをうけ、自転車の利用実態や安全意識を把握し、今後の事故防止策や周知・着用促進施策に活用する。
実施時期	R8.10.1～10.29

（２）県民モニター

施策や事業の立案等に県民の意見を活かしていくため「県民モニター」を一般募集し、県民に身近な課題についてインターネットを利用して意見を聴取。

【対　　象】県内在住・在勤・在学で県政に関心を有する18歳以上の者
【人　　数】2,209人（R8.9月末）
【任　　期】当該年度内（再任可）
【活動内容】web上でアンケート調査に回答



【令和８年度調査】

回	調査テーマ	調査結果の活用	実施期間
1	食の安全安心に関する意識調査	食品の安全性への関心等を把握し、「食の安全安心と食育推進計画」の次期計画（令和9年度～13年度）の策定に活用する。	R8.5.15 ～5.25
2	介護と認知症に関する意識について	高齢者の福祉や介護サービスに関する各種施策の推進など県民意識を把握し、「兵庫県老人福祉計画」の次期計画（令和9年度～11年度）の策定に活用する。	R8.7.31 ～8.10
3	受動喫煙及びオーラルフレイルに関する意識について	受動喫煙やオーラルフレイルに関する県民の意識や実態を把握し、受動喫煙対策及びオーラルフレイル予防に関する今後の施策策定に活用する。	R8.10.23 ～11.2
4	防災に対する意識と取り組みについて	防災対策の効果的な推進及び県民の防災意識の高揚を図るため、県民の防災･減災に対する認識及び取り組みの現状を把握する。	R9.1月予定

（３）さわやか提案箱

県の業務の改善・検討等を進める参考とするため、県政に関する意見や提案を電子メールで受付。

（件数）

年度	意見･提案等	簡易な照会	計
R5	1,957	54	2,011
R6	14,713	47	14,760
R7	6,837	70	6,907
R8.9末	3,460	8	3,468


設問1 お名前を入力してください。（回答を要する場合は必須）

設問2 ご住所を入力してください。（回答を要する場合は必須）

設問3 性別を選択してください。

○男 ○女 ○答えたくない

設問4 年齢を選択してください。

○10代以下 ○20代 ○30代 ○40代 ○50代 ○60代 ○70代以上

設問5 E-mailを入力してください。（回答を要する場合は必須）

設問6 ご意見（自由記述）を入力してください。（1000文字以内）

送信確認 リセット

送信フォーム（県ＨＰ）

2　相談体制の充実

（１）さわやか県民相談（予算額　72,694千円）

兵庫県民総合相談センター、各県民局・県民センター、広報広聴課に相談員を配置し、専用電話（フリーダイヤル等）、面談などにより、県民の県政に対する意見・要望や日常生活に係る相談事案などに対応。

【相談体制】

配置場所	県民局・県民センター	県民総合相談センター	広報広聴課	合計
相談員	15人	3人	2人	20人

【利用状況】　（件数）

年度	照会	相談	意見	苦情	その他	合計
R5	6,979	4,531	1,137	889	960	14,496
R6	6,456	5,235	8,582	3,818	1,117	25,208
R7	6,570	4,587	5,647	1,287	1,551	19,642
R8.9月末	3,720	2,164	2,031	543	890	9,348

（２）兵庫県民総合相談センター（予算額　19,352千円）

県政に対する意見、要望から生活一般に関する悩みごとまで、県民から寄せられる相談等に幅広く対応。そのため、各種専門相談窓口を同センター内に併設するとともに、相談内容に応じて、県や国、市町の所管部署を案内するなど、相談業務の総合調整機能を充実。

【相談窓口及び利用状況】　（件数）

相談窓口	R5	R6	R7	R8.9末
さわやか県民相談	2,994	3,732	3,364	1,909
法律相談	202	242	223	106
家事（家庭問題）相談	36	42	56	29
認知症・高齢者相談	351	292	306	108
外国人県民相談	3,551	3,347	3,215	1,896
交通事故相談	337	367	377	218
国の行政相談	2	9	9	1
合　計	9,249	9,866	7,550	4,267



3　県庁見学の実施（予算額　7,101千円）

県庁を訪れる小学生等を対象に、災害対策センター、県警本部等を案内するとともに、県勢や県の仕事を紹介し、郷土学習意欲の向上及び県政への理解を促進。

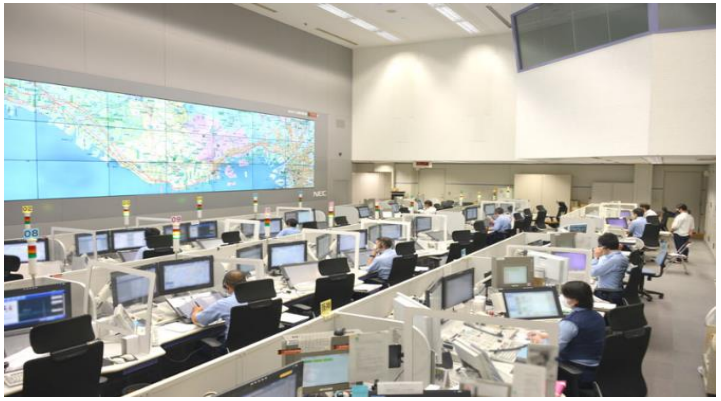
【実施状況】

年度	小学生		一般団体		合計	
	団体数	見学者数（人）	団体数	見学者数（人）	団体数	見学者数（人）
R5	108	4,917	34	1,077	142	5,994
R6	112	5,032	33	988	145	6,020
R7	104	4,388	29	744	133	5,132
R8.9月末	19	895	19	495	38	1,390

主な見学場所



災害対策センター



兵庫県警察本部

兵庫県